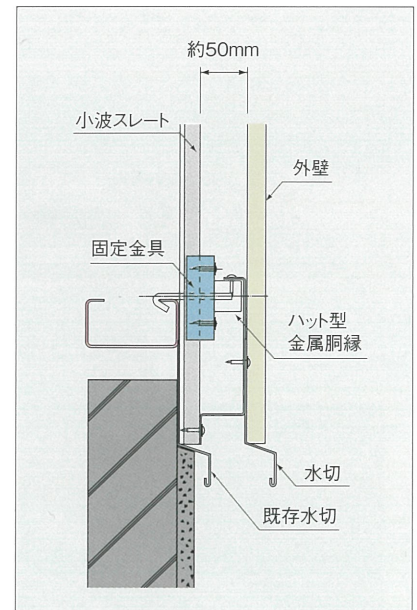
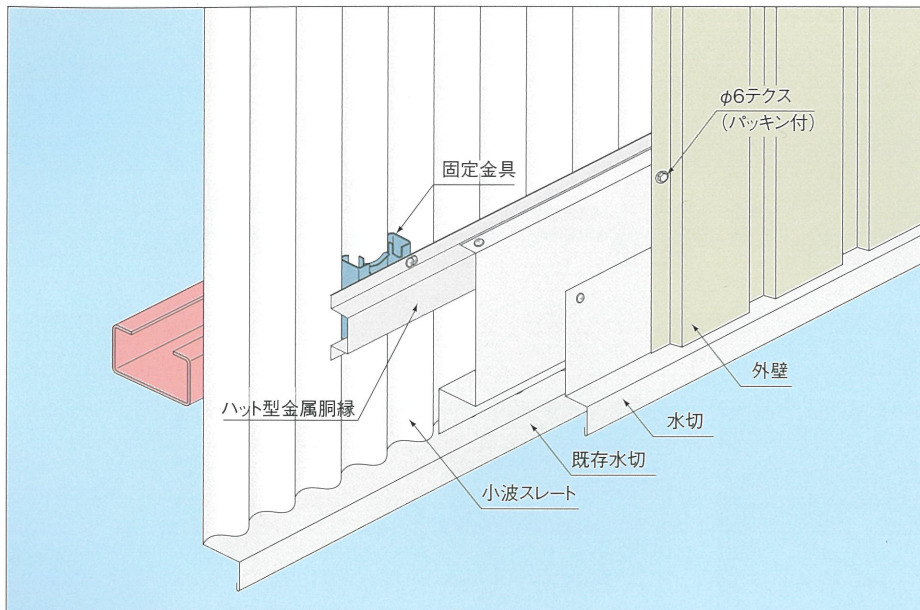


# ウォール・スライドイン工法（間接固定）



## 特長

### 1. 既存小波スレート壁に穴をあけずに施工可能！

- 既存フックボルトを利用し、専用金具を固定し下地を構成してゆくため、既存小波スレートにダメージを与えることはありません。  
※既存建物の状態により穴をあける場合があります。

### 2. たたき込み治具工具によるスムーズな固定！

- 既存フックボルトワッシャー部にスライドさせ固定しますが、たたき込み治具を用いることによりスレートへの不要な打撃を抑え、小波スレートの損傷を防ぎます。スムーズに挿入できるため、作業性も向上します。

### 3. 工事中でも営業や操業が可能！

- 施工中もアスベストを含む粉塵等を室内へ飛散させない工法なので、室内養生の必要もなく、建物内での業務は継続して行えます。

### 4. 既存フックボルトの切断作業が不要！

- 固定金具、下地部材を用いることで、既存フックボルトの余長分と干渉せず、面倒な切断作業は不要です。

### 5. 下地構成時に不陸調整が可能！

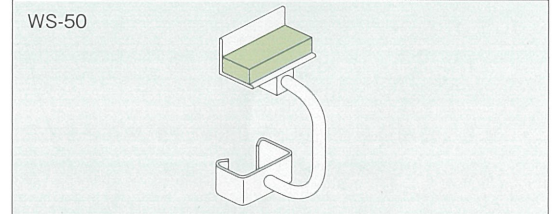
- 固定金具と固定金具（Hタイプ）を使用することにより、スレートの重なりによる不陸を吸収します。明かり採り部ではスレートとの高さ異なるため、高さ調整金具を用いて不陸を最小限に留めます。

## 純正部材例

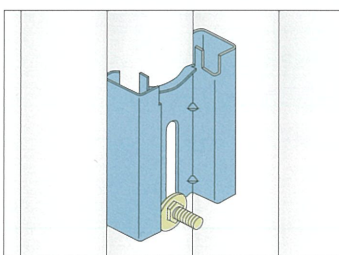
固定金具	固定金具（Hタイプ）
<b>WS-01</b>  材質：亜鉛めっき鋼板 板厚：1.6mm	<b>WS-10</b>  材質：亜鉛めっき鋼板 板厚：1.6mm
ハット型金属胴縁	高さ調整金具（5mm）
<b>WS-04</b>  材質：亜鉛めっき鋼板 板厚：1.2mm 長さ：3175mm	<b>WS-11</b> 主に明かり採り部で使用  材質：亜鉛めっき鋼板 板厚：0.8mm

※他の部材は設計・施工マニュアルをご覧ください。

## たたき込み治具

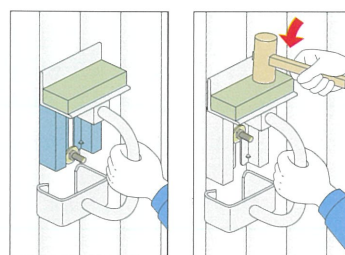


## 施工手順



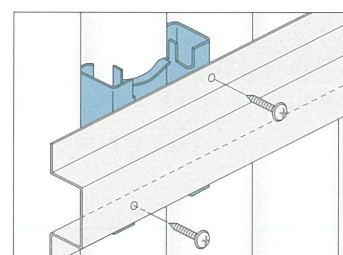
### ①固定金具の仮置き

既設フックボルトのワッシャー下パッキン部に固定金具を上図のようにセットします。



### ②たたき込み治具の設置

たたき込み治具を固定金具にセットし、上部をハンマー等で、フックボルトが固定金具の中央にくるまでたたき込んで下さい。



### ③ハット型金属胴縁の固定

シンワッシャーテクスを用いて、ハット型金属胴縁を基本対角2本により、固定金具に止め付けます。